

風の子通信

2019年度版 5月号



「障害者に本当に役立つ避難訓練をしよう その5」 —水戸駅南口から水戸市役所新庁舎をめざそう—

平成31年4月28日に、避難訓練を行いました。
5回目となる今回は、水戸警察署水戸駅南口交番、水戸市役所防災危機管理課、障害福祉課の方々に協力いただきました。

水戸駅南口で地震に遭遇する想定で、交番でカードを提示し、交番で市役所の職員を待ってから市役所まで避難を誘導してもらうというものでした。

親子で参加していただき、市役所での受付も緊張感を持って行うことができました。受付では、たすけてパスポート（ヘルプカード）などを提示しながら簡易間仕切りブースに誘導してもらい、水と非常食（五目ご飯、クラッカー）を受け取って休憩しました。

その後、それぞれの気づきや疑問などを話し合い、有賀先生の講評を頂いて終了しました。

今回は、15家族に参加いただき、家庭での防災に関する意識の共有をする機会になりました。また、市役所職員や水戸警察の方などのご協力により、災害時のそれぞれの行動、及び一般市民としての協力の仕方を改めて確認していくことの必要性を実感しました。今回の内容を踏まえて、今年度中に再度避難訓練の実施を検討しています。今後ともたくさんの方の参加をお待ちしています。



当日スケジュール

9:15 水戸駅集合／受付開始

9:55 説明開始
理事長挨拶、市役所職員等紹介
スケジュール説明
(防災・危機管理課 坪井室長)



10:05 全員集合
地震発生の場合（防災課小林課長）
周囲を確認し、頭の上に鞆を置いてしゃがむ

10:13 1列で水戸駅南口交番到着
※カード提示している間に橋が渡れなく危険があるため安全確認をする



10:16 全員提示終了
警官が無線で市役所に連絡

10:19 市役所職員到着
(ベストor作業服orみとちゃん
ジャンパー+名札をつけている)



10:20 水戸駅発

10:35 市役所着
説明（助けてカードを提示）

市役所受付
(水と五目ご飯を受け取り、
間仕切りブースで休憩する)

10:40 全員受付終了



有賀先生講評

- ・ 本日の避難訓練はスムーズにできたと思う。
- ・ 水戸駅では周囲の人が興味を持っていたので、啓発になったと思う。
- ・ 何回も避難訓練に参加することで様々な経験ができる。
- ・ 限界が来る前に苦しみを訴えることが大切。
- ・ 人の苦手と得意を把握することで共助が可能になる。



参加者からの意見

- ・ いざという時が来るととても不安です。普段使っているところで滅多にない出来事に遭遇するとなおさらです。しかし、今回の訓練で安心しました。
- ・ 2回目の参加です。前は一口も食べられなかったのが、今回は非常食を食べることができました。繰り返し参加することで、慣れていくんだなと思いました。

